

第2回瀬戸市子ども読書活動推進計画（第三次）策定委員会 議事録

日時 平成30年11月7日（水）午後1時30分～2時20分

場所 瀬戸市役所 4階庁議室

出席者

委員長：涌井 康宣

副委員長：八木 敬彦

委員：加藤 千美、太田 亜衣、山田 真美、松崎 太郎、早川 寿、長谷川 武宏、
磯村 玲子、小島 早苗、田中 伸司

事務局：図書館長 中桐 淳美、専門員 吉村 きみ

オブザーバー：地域問題研究所 主席研究員 田辺 則人

欠席者

委員：岡田 努

傍聴者 なし

議事内容

1 開会（進行－館長）

- ・委員12名中11名が出席であることを報告
- ・会議の円滑な進行における諸注意及び配布資料の確認

2 議事（議長－委員長）

（委員長）

お忙しい中、お集まりいただき感謝する。前回から今回までの間に多様な調査をさせていただいたところ、皆様のご協力もあり、これまで確認できなかった取組み状況を改めて把握することができた。

前回もお話したが、子どもの読書の推進は、母国の言葉を理解する術であると感じている。アイデンティティを育み、個人や国の品格を高めるものが読書であり、子ども達に対して読書を進めることは大事であると考えている。

それでは、議事に入る。議事（1）第二次計画推進のための取組み進捗状況・方針調査の結果等について、事務局より説明をお願いします。

（1）第二次計画推進のための取組み進捗状況・方針調査の結果等について

（専門員） 資料1～6に基づき説明

（委員長）

委員の皆様からご質問、ご意見等をお聞きしたいが、まずは、今回出席いただいた委員から、日頃、幼稚園で取り組んでおられることや感じておられること等何でも結構なのでご感想やご

意見をお話しいただきたい。

(委員)

当園は図書室を設置しており、園児が昼食後、自分で本を取り出せるようになっている。新しいものや季節のものは見やすいように工夫している。職員は毎月10冊程度の本を入れ替えて部屋に置いて読書ができるようになっている。

良い写真などが掲載されている本を定期購入していて、部屋で子ども達に紹介した後、図書室に出して利用できるようにしている。

紙芝居は値段が高いということと、何回も読むことはないので、図書館で借りることができたら良い。大きな絵本も、行事の時などに図書館から借りて利用している。

(委員長)

続いて、子育て中の母親の立場からお子さんの読書に関することでも結構なのでご発言をいただきたい。

(委員)

小中学校の子どもが3人いるが、今の子は本を読まない。小学校では読み聞かせにボランティアの方が来ていただいており、各学年週1回ある。図書室は低学年、高学年用と分かれていて、うちの子も借りてくるが、読んでいる姿はなかなか見られず、ゲームをしている姿は見かける。

中学校は地域図書館にもなっているので、息子に本を借りなさいと言っても、面倒ということで借りてこない。宿題が終わるとゲームに走ってしまう。

今の子ども達は、本を読むよりもゲームで友達と通信して遊んでいるのが現状である。日本人であり、国語の授業は必ずあるので、本を読まないと言っても物事は分からないと言ってもなかなか耳には入らないようである。

(委員長)

今回、市内の公立高校4校に取組み状況の調査をさせていただいている。資料4でまとめているが、副委員長から補足等があればご発言いただきたい。

(副委員長)

高校生も本はなかなか読まない。文字はあまり好きではないのが本音である。学校での取組みは資料のとおりである。朝読は1時間目の授業をスムーズにするための準備でもあるがやっており、図書館まつりも開催している。本校の図書館まつりは市の図書館と連携して、学校の図書館を一般公開している。今年はテーマを「竹取物語」とし、図書委員が来校した一般の人に展示内容の説明をし、クイズに回答してもらうようになっている。景品もあり、毎年盛大に行われている。

実際にはやれる教員がいないと開催できない。本校はたまたま図書担当の先生が転勤もなく継続できている。ビブリオバトルも熱心な先生がいるので、2年継続して発表者として生徒が参加できる。各学校も人材がいないと、読書活動推進はなかなか難しい。

大学入試が全てではないが、高校も全入に近い状態で、大学に進学する生徒がほとんどである。大学の約束という冊子の特集を見たが、これからの新しい時代は批判的思考力、創造的思考力を問う時代ということである。大学でも考えてアウトプットする状況がないといけないということで、そういった入試に変わっていく。より高度な考える力がないといけない。そのためには、読書は大事である。小論文を中心に大学入試が変わることが間違いなく行われていく。今の高校1年生から入試制度が変わり、これからどんどん変わっていく。

一例を挙げると、お茶の水女子大学で新フンボルト入試というものがあり、二次試験の段階であるが学生は図書館に入って資料を探して、自分でまとめて提出する。読んで理解してレポートを作成することが試験にも随分使われている。これはAO、推薦入試に使われるが、当然、いろいろな大学でも読解力がある人を獲得したいという方向に進むと思う。高校も大学に向けての準備段階ではないが、将来自分でいろんなことを考えて発言出来る学生をつくりたいということもあるので、高校もそういった方向に向かっていく。

(委員長)

他に委員の皆さんから何かご質問ご意見はあるか。

<意見等なし>

(委員長)

他に無いようなので、次の議事に移る。議事(2)第三次計画骨子(案)について、事務局より説明をお願いします。

(2)第三次計画骨子(案)について

(専門員) 資料7及び資料8に基づき説明

(委員長)

ただいまの事務局からの説明について、ご質問ご意見があればご発言いただきたい。

<意見等なし>

(委員長)

ご意見等ないということで、事務局が説明した計画骨子(案)で計画をすすめていくことを了承いただけたとする。

議事(3)その他に移る。事務局から何かあれば説明をお願いします。

(館長)

前回の策定委員会で説明した計画策定スケジュール(案)を一部修正し、本日、修正後の資料を配布した。修正箇所は、今後開催予定の第3回・第4回の策定委員会の日程とパブリックコメ

ントの実施時期等である。現時点での県の計画策定スケジュールを確認し記載を加えた。

(委員長)

事務局が説明した策定スケジュールの変更について、ご質問ご意見があればご発言いただきたい。

<意見等なし>

(委員長)

意見等なしということでよいか。次回の策定委員会までのスケジュールがタイトなのは、パブリックコメントの実施や議会への報告の都合ということである。委員の皆様にはお忙しい中ではあるがご協力をお願いする。

これをもって議事は全て終了した。

少し時間に余裕があるので、会議の進行を事務局に戻す前に一言、小中一貫校のPRをさせていただく。小学校5校と中学校2校を一つの学校に統合し小中一貫教育をするにじの丘学園は平成32年4月の開校である。1年5か月後の開校に向け、今、一番力を入れているのが、今日話題となっている図書館機能である。棚や図書を読むスペースのみでなく図書の内容も充実したい。まだ財政当局の了解をもらってないので確約ではないが、方向性としては全部新品のきれいな本を子ども達に提供したい。古い本がだめなわけではないが、子ども達が手に取って見たくなる本、読みたくなる本をしっかりと区分しながら身近に置く環境づくりがわれわれの責務だろう。

一方、授業も関連する中で、コミュニケーションがとても大切である。子どもはLINEをやっているとこんな言葉でコミュニケーションが取れるのか、絵文字一個で了解のようなことにしている。自分の意見を一つ言うにしてもボキャブラリーの量がない中で、自分の意志が伝わらないことは日々痛感している。ボキャブラリーの量を増やすのは、読書から得るのが大きいと感じている。そういうところを学校カリキュラムの中でも力を入れるということで、先生方がご苦勞されている。新しい建物に目が行きがちであるが、ハード面のみではなくソフト面も含めて教育委員会としてはいろいろと力を入れているということである。

委員の皆様の円滑な議事の進行に感謝し、進行を事務局に戻す。

3 その他

(館長)

まずは、こども未来課長である磯村委員より関連情報の提供をいただく。

(委員) 資料「瀬戸市の子ども若者支援プログラム」に基づき説明

(館長)

事務局からの連絡事項として、本日承認をいただいた計画骨子(案)をもとに、今後、計画素案を策定していく。次回の策定委員会では、素案について審議を諮る予定である。

次回は1月8日(火)午後1時30分～、第4回は3月18日(月)午前に開催したいと考えており、詳細が決定次第ご連絡する。

4 閉会

第二次計画 推進のための取り組み(第4章) 進捗状況・方針調査

No.	コード	箇所	分野		施策	施策の具体策(事業等)	策定時の現状	目標	担当課	協力機関	平成26年度から30年度の主な取り組み	取り組み状況の評価	今後の方針(継続推進、一部見直し、見直し、廃止、別の施策の立案など)	施策を推進する場合の課題
1	1111	第4章	1年齢に沿った取り組み	(1)乳児(0~2歳児)	① 0歳児から絵本に触れる環境をつくる	・ブックスタート事業の継続・充実	実施	継続	図書館	健康課 ボランティア	・ブックスタート事業 開催時期:6か月児健康相談時 内容:絵本(2冊)・アドバイスブックの配布、読み聞かせ 参加親子数: H26-852組(実施率96%) H27-867組(実施率93%) H28-797組(実施率96%) H29-822組(実施率99%)	達成	継続推進	・スタッフのスキルアップ ・絵本のプレゼントで終わらせないよう家庭での読み聞かせの実施につなげること ・ボランティアの安定的確保
2	1112	第4章	1年齢に沿った取り組み	(1)乳児(0~2歳児)	① 0歳児から絵本に触れる環境をつくる	・交通児童館の図書コーナーの貸出本の入替の実施、ファミリー交流館のサロン、学習室、児童室にも本を配置する	実施	充実	こども未来課		・交通児童遊園の図書コーナーへの本の入替(3ヶ月ごと) ・ファミリー交流館の3歳児未満児の育児サロンに図書コーナーを設置(H18)	達成	継続推進	・魅力ある書棚づくり ・団体貸出の周知と利用促進(要綱等の整備)
3	1113	第4章	1年齢に沿った取り組み	(1)乳児(0~2歳児)	① 0歳児から絵本に触れる環境をつくる	・公民館での絵本の貸出	実施	継続	まちづくり協働課	図書館	・公民館での絵本の貸出(15館中12館で実施)	達成	継続推進	・図書の充実(計画的な入替)
追加					・0歳児から絵本に触れる環境をつくる ・親子で本に触れ合う機会をつくる	・キッズルームの開設	実施		図書館		・キッズルームの開設 開催:年2回 内容:子どもと保護者が絵本の読み聞かせ等、周囲に気兼ねなく本に触れ合う専用スペースを確保、企画テーマによる本の展示・紹介	達成	継続推進	・学習スペース利用者への配慮 ・企画内容の工夫等キッズルームの魅力の向上
4	1121	第4章	1年齢に沿った取り組み	(1)乳児(0~2歳児)	② 年齢に応じた読書活動の推進を図る	・年齢別の啓発リーフレットの作成	実施	継続	図書館		・0歳児向けのおすすめ絵本リストの作成・配布 配布時期:ブックスタート等 ・定期刊行物の発行による啓発 「かるがも通信」(~H27年度) 「わんぱく通信」(H28年度~) 発行:月1回 内容:未就園児向け絵本の紹介、読み聞かせ催事の案内	達成	継続推進	・絵本リストの内容の定期的な見直し
5	1122	第4章	1年齢に沿った取り組み	(1)乳児(0~2歳児)	② 年齢に応じた読書活動の推進を図る	・乳幼児健診、子育て支援事業などで啓発リーフレットを配布	実施	継続	健康課	図書館	・6ヶ月健康相談時のブックスタート事業でリーフレットを配布 ・検診時の待合室にリーフレット設置	達成	継続推進	
6	1123	第4章	1年齢に沿った取り組み	(1)乳児(0~2歳児)	② 年齢に応じた読書活動の推進を図る	・公民館での啓発リーフレットの配布	未実施	実施	まちづくり協働課		・啓発リーフレットを各公民館で配布(H28) 配布数:100部	達成	継続推進	
7	1131	第4章	1年齢に沿った取り組み	(1)乳児(0~2歳児)	③ 親子で本に触れ合う機会をつくる	・図書館での定期的なおはなし会の開催	実施	継続	図書館	ボランティア	・未就園児向け読み聞かせを平日毎日実施。 (~H28年12月)火・木・金 午前11時~11時30分 (H29年1月~)平日毎日 午前11時~11時30分 週3回から5回に増加	達成	継続推進	
8	1132	第4章	1年齢に沿った取り組み	(1)乳児(0~2歳児)	③ 親子で本に触れ合う機会をつくる	・交通児童館で毎週交通安全の紙芝居を実施したり昔話などのお話に触れる機会を設ける	実施	継続	こども未来課		・交通教室(週1回)での紙芝居、大型絵本の読み聞かせ ・誕生日会(月2回)での紙芝居、大型絵本の読み聞かせ ・遊園まつりにて高校生による読み聞かせ ・春休み ボランティアによる読み聞かせ	達成	継続推進	・交通安全の読み聞かせについて企画内容の工夫等魅力の向上
9	1133	第4章	1年齢に沿った取り組み	(1)乳児(0~2歳児)	③ 親子で本に触れ合う機会をつくる	・ファミリー交流館の育児講座等で読み聞かせの大切さを知らせる	実施	継続	こども未来課		・育児講座や出張サロン、サークル支援などで絵本の読み聞かせを実施	達成	継続推進	・家庭での読み聞かせの実施につなげること。
10	1141	第4章	1年齢に沿った取り組み	(1)乳児(0~2歳児)	④ 読書の重要性について保護者の理解促進を図る	・広報などにより読書の重要性をPRする	実施	継続	図書館		・広報せとに特集記事掲載 H27年度12/15号 テーマ:「読書が育む子どもの未来」	達成	継続推進	・計画的な広報掲載 ・HPの積極的な活用
11	1142	第4章	1年齢に沿った取り組み	(1)乳児(0~2歳児)	④ 読書の重要性について保護者の理解促進を図る	・保護者向け講座の開催	実施	継続	図書館	こども未来課	・具体的な講座の開催はなし ・ただし、図書館で平日毎日実施する読み聞かせの中で読書の重要性を説明	未達成	一部見直し 読み聞かせの中で、読書の重要性について保護者の理解促進を図る。	
12	1211	第4章	1年齢に沿った取り組み	(2)幼児(3~5歳児)	① 幼稚園・保育園の図書コーナーの整備を図る	・図書館の蔵書を活用し、図書の充実を図る	実施	継続	保育課	図書館	・園にない本を定期的に図書館の団体貸出を利用し充実 最終貸出利用H28年度	未達成	継続推進	・園ごとで利用状況に差がある。 ・団体貸出の周知と利用促進(要綱等の整備)

第二次計画 推進のための取り組み(第4章) 進捗状況・方針調査

No.	コード	箇所	分野		施策	施策の具体策(事業等)	策定時の現状	目標	担当課	協力機関	平成26年度から30年度の主な取り組み	取組み状況の評価	今後の方針(継続推進、一部見直し、見直し、廃止、別の施策の立案など)	施策を推進する場合の課題
13	1221	第4章	1年齢に沿った取り組み	(2) 幼児(3~5歳児)	② 園児が本に接する機会を提供する	・図書館の近隣園で図書館訪問を実施する	一部実施	拡充	保育課	図書館	・園児の図書館訪問の実施(水南保育園)実施:年1~2回	達成	継続推進	
14											・園の本の貸出(全園)貸出方法:週1回、一人2冊まで		継続推進	・園の所有圖書の充実 ・団体貸出の周知と利用促進(要綱等の整備)
15	1231	第4章	1年齢に沿った取り組み	(2) 幼児(3~5歳児)	③ 読書の重要性について保護者の理解促進を図る	・保護者向け講座の開催	実施	継続	図書館	こども家庭課各園	・具体的な講座の開催はなし ・ただし、図書館で平日毎日実施する読み聞かせの中で読書の重要性を説明	未達成	一部見直し	
16	1241	第4章	1年齢に沿った取り組み	(2) 幼児(3~5歳児)	④ 幼稚園・保育園の教育・保育活動を通じての読書の普及	・保育の中で読書活動を行う	実施	充実	保育課		・給食後、おやつ後の「絵本タイム」の設置 ・お迎え待ちの時間を利用し読書時間の設置 ・保育士による読み聞かせの実施 回数:1~2回/日	達成	継続推進	・園の所有圖書の充実
17-①	1251	第4章	1年齢に沿った取り組み	(2) 幼児(3~5歳児)	⑤ 子どもと本をつなぐ役割を担う人の育成を図る	・養成講座の開設	実施	継続	図書館	保護者ボランティア	・主催による講座の開催はなし ・講座「心がはずむ読み聞かせ」の講師を紹介(H28~30年度) 担当課 H28-交流学び課、H29-こども家庭課、H30-こども未来課	未達成	一部見直し(担当課の変更)	・関係課とのニーズの共有と協力体制
17-②	1251	第4章	1年齢に沿った取り組み	(2) 幼児(3~5歳児)	⑤ 子どもと本をつなぐ役割を担う人の育成を図る	・養成講座の開設	実施	継続	まちづくり協働課	保護者ボランティア	・講座「心がはずむ読み聞かせ」の開催(H28~30年度) 担当課 H28-交流学び課、H29-こども家庭課、H30-こども未来課	達成	一部見直し(担当課の変更)	
18	1311	第4章	1年齢に沿った取り組み	(3) 児童・生徒(6~18歳児)	① 教育活動を通じて読書の普及を図る	・読書指導を国語などの教科で充実させていく	未実施	実施	学校教育課		・各教科での読書指導の実施 国語...読書の仕方や大切さについての学習 社会、理科等...調べ学習で図書室の利用指導	達成	継続推進	
19	1312	第4章	1年齢に沿った取り組み	(3) 児童・生徒(6~18歳児)	① 教育活動を通じて読書の普及を図る	・図書館見学を全ての小学校で実施する	実施	継続	学校教育課	図書館	・図書館見学を2・3年生の地域学習で実施(全校、掛川小は複式学級のため、隔年で実施) 見学者数 H29年度 1,120名	達成	継続推進	
20	1321	第4章	1年齢に沿った取り組み	(3) 児童・生徒(6~18歳児)	② 学校図書館の整備充実を図る	・朝読書や読書週間など、読書する機会を充実させる	実施	充実	学校教育課	学校教育課	・小学校での読書週間、読書集会等の開催 ・中学校での読書の時間設置	達成	継続推進	
21	1322	第4章	1年齢に沿った取り組み	(3) 児童・生徒(6~18歳児)	② 学校図書館の整備充実を図る	・朝読おすすりリストの作成	実施	継続	図書館	学校教育課	・朝読おすすりリストの作成は未実施 ・地域図書館開設校へ司書を派遣(読み聞かせ・ブックトークの実施、ブックトーク等で紹介した本の一覧の配布)	未達成	継続推進	
22	1323	第4章	1年齢に沿った取り組み	(3) 児童・生徒(6~18歳児)	② 学校図書館の整備充実を図る	・引き続き学校図書標準の充足(質量ともに)を図る	未達成	達成	学校教育課	図書館	・毎年予算の範囲で図書を購入	達成	継続推進	・予算の確保
23	1324	第4章	1年齢に沿った取り組み	(3) 児童・生徒(6~18歳児)	② 学校図書館の整備充実を図る	・図書館の蔵書を活用し、図書 の充足を図ることができるよう 各学校と図書館の連携を強化 していく	一部実施	実施	学校教育課	図書館	・図書館の学校配達(団体貸出)を利用し、不足している書籍を充足。 配達校数:地域図書館を除く8小学校(H30年度)	達成	継続推進	・学校配達(団体貸出)の利用促進
24	1325	第4章	1年齢に沿った取り組み	(3) 児童・生徒(6~18歳児)	② 学校図書館の整備充実を図る	・空調設備の設置による環境整備をすすめていく	一部実施	実施	学校教育課		・図書室への優先的な設置は未実施(普通教室を優先して設置のため、地域図書館・PCルーム共有スペース等の場合は設置済み)	未達成	継続推進	・予算の確保
25	1326	第4章	1年齢に沿った取り組み	(3) 児童・生徒(6~18歳児)	② 学校図書館の整備充実を図る	・全校の図書のデータ化を図り、共有化できるようにシステムの構築に向けて研究していく	一部実施	実施	学校教育課	図書館	・学校図書システムによるデータ化(バーコードによる管理)は実施済み ・各校のデータ共有化は未実施	未達成	見直し ・データの共有化の必要性について見直しの必要あり	
26	1331	第4章	1年齢に沿った取り組み	(3) 児童・生徒(6~18歳児)	③ 学校司書の配置を進める	・複数校を兼任する専任学校司書を配置することができるよう研究していく	未実施	実施	学校教育課		・未実施 12学級以上の学校には司書教諭が配置されているが、学校司書は配置されていない。	未達成		
27	1341	第4章	1年齢に沿った取り組み	(3) 児童・生徒(6~18歳児)	④ 読書の重要性について保護者の理解促進を図る	・啓発リーフレットの作成、配布に向けて研究していく	未実施	実施	学校教育課	図書館	・未実施 ・既存の配布物(図書館からの催し物案内や読書感想文コンクール、読書感想文コンクール等の作品券集案内等)を配布・啓発	未達成		
28	1342	第4章	1年齢に沿った取り組み	(3) 児童・生徒(6~18歳児)	④ 読書の重要性について保護者の理解促進を図る	・学校案内等による啓発活動がより充実したものとなるよう研究していく	実施	充実	学校教育課		・研究は未実施 ・学校だよりや学級通信等を通して、読書の重要性や効果について紹介	未達成		
29	1343	第4章	1年齢に沿った取り組み	(3) 児童・生徒(6~18歳児)		・講座の開催	実施	継続	図書館		・一日司書、理科教室(毎年) ・ピリオパトル(H27~30) ・読書感想文講座(H30)	達成	継続推進	
30	1351	第4章	1年齢に沿った取り組み	(3) 児童・生徒(6~18歳児)	⑤ 高校などとの情報交換を図る	・学校図書館の状況などの情報の収集	実施	継続	図書館	学校教育課	・県立高校との情報交換、連携事業の実施。 図書館めぐり(瀬戸高校・瀬戸北高校、H29・H30)	達成	継続推進	
追加					・中高生の読書推進	・ヤング・アダルトコーナーの開設(常設コーナー)	実施		図書館		・ヤング・アダルトコーナーの開設(常設) ・テーマ展示の実施(H29~)	達成	継続推進	

第二次計画 推進のための取り組み(第4章) 進捗状況・方針調査

No.	コード	箇所	分野	施策	施策の具体策(事業等)	策定時の現状	目標	担当課	協力機関	平成26年度から30年度の主な取り組み	取り組み状況の評価	今後の方針(継続推進、一部見直し、見直し、廃止、別の施策の立案など)	施策を推進する場合の課題
31	2011		2総合的な取り組み	①関係機関の連携・協力のための具体的な施策を検討する組織を設置する	・瀬戸市子ども読書活動推進協議会の推進	実施	継続	図書館	各課	・推進協議会の設置のみ(会議の開催はなし)	未達成	見直し	
32	2021		2総合的な取り組み	②家庭、地域、学校、行政機関のネット	・推進協議会内に推進委員会を置き、各機関等より委員を出す	未実施	実施	図書館		・未実施	未達成	見直し	
33	2022		2総合的な取り組み		・コーディネーターの育成	未実施	実施	図書館		・未実施	未達成	見直し 連携・情報の共有化による有用な人材の活用	
34	2031		2総合的な取り組み	③地域図書館の設置を進める	・施設的な条件が整っている学校に設置する(目標8館)	実施	継続	図書館	対象学校	・幡山西小学校に開設(H29、6館目)	達成	継続推進	
35	2041		2総合的な取り組み	④広報活動により子ども読書活動への理解と関心を高める	・啓発リーフレットの作成	実施	継続	図書館		・未実施	未達成	見直し ・既成資料の活用	
36	2042		2総合的な取り組み		・教育市民フォーラムでのPR	実施	継続	図書館	教育政策課	・未実施	未達成		
37	2043		2総合的な取り組み		・子ども読書活動の内容や啓発記事を定期的に広報、HPIに掲載する	実施	継続	図書館		・未実施	未達成		
38	2044		2総合的な取り組み		・子ども読書活動の内容、啓発記事を瀬戸市広報の教育関連記事の中で随時掲載していく	未実施	実施	教育政策課	図書館	・読み聞かせ等の読書活動を学校HPIにて公開(長根小)	未達成	見直し ボランティアの情報交換の推進による広報活動	・ボランティア同士が学校の枠を超えて情報交換をする機会がない。
39	2051		2総合的な取り組み	⑤読書活動の優れた取り組みを表彰する	・教育市民フォーラムで表彰される教育関係表彰者の中に読書活動への取り組みを行った方も対象としていく	実施	継続	教育政策課		・実施済み 表彰実績:こはんおはなし会(H28)	達成		
40	2061		2総合的な取り組み	⑥優れた図書を普及するための啓発・広報を行う	・瀬戸市広報の教育関連記事掲載の中で普及のための啓発を随時行っていく	実施	継続	学校教育課	図書館	・未実施 ・広報せとに「図書館からのお知らせ」を定期的(隔月)に掲載	未達成	一部見直し 担当課の見直し	
41	2071		2総合的な取り組み	⑦地域での読書活動の推進を図る	・公民館での読書環境の整備	実施	継続	まちづくり協働課	図書館	・公民館の整備状況(全15館) 図書コーナー設置:13館 本の貸出:12館 絵本の貸出:12館	達成	一部見直し 地域交流センターを対象として追加	
42-①	2072		2総合的な取り組み		・公共施設以外での読書環境づくりの研究	未実施	実施	まちづくり協働課		・未実施	未達成		
						未実施	実施	図書館		・未実施	未達成		

読書活動の取組み(小学校)

学校	平成29年度実施時期	主な取組み内容	平成30年度実施予定
陶原小学校	年に2回の読書週間 (1・2学期) 保護者ボランティアの活動は朝や長い放課に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書週間については学年で計画(読み聞かせ・ペア読書・読書タイム・紹介文を書く・読書感想画を描くなど) ○ 保護者ボランティアによる朝の読み聞かせ、大型紙芝居、長い放課のお話会 	モジュールの時間を利用して、月に数回読書活動を行う。内容・回数については未定。1・2学期に読書週間または読書月間を持つ。
深川小学校	年に3回の読書週間(学期に1度2週間) 週2回朝読書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先生の読み聞かせ(担任、先生のシャッフル) ○ 6年生による読み聞かせ ○ 波の会によるストーリーテリング ○ 読書の木 ○ 本の紹介カード ○ 分類ビンゴ(しおりのプレゼント) 	水・金曜日朝(モジュールの時間)朝読書 平成29年度と同じ取組みを行う予定
祖母懐小学校	年に2回の読書週間 (6月・11月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 週1回の朝読書 ○ 昼放課に、ボランティアによる読み聞かせ ○ なかよし読書(ペア学年) ○ おすすめの本の紹介(カード・帯) ○ 読書郵便 ○ 雨の日紙芝居(図書委員) 	6月・11月に読書週間 週1回の朝読書 朝読書の時間に、ボランティアによる読み聞かせ
道泉小学校	各学期1回の読書月間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各読書月間に、読書カードの取組み(あじさいカード・どんぐりビンゴカード・雪だるまカード) ○ 読み聞かせボランティアや先生方による読み聞かせ ○ 読書集会(1学期と3学期) ○ ブックハウスに図書委員のおすすめ本の紹介棚を設ける ○ 年間8回程度、ブックハウスだよりの発行 ○ 年度末に、その年一番たくさん本を借りて読んだ人をクラスのブックキングとして表彰する 	今年度通り、各学期1回の読書月間を実施予定。
效範小学校	年に3回の読書週間 (学期に1度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読み聞かせ(保護者の読み聞かせボランティア・図書委員) ○ 多読賞を設け、図書委員の手作りのしおりをプレゼント ○ 図書委員おすすめ本の紹介ポスター掲示 	年に3回の読書週間 (学期に1度) (読書週間中はモジュールを行わない)
東明小学校	年に2回の読書週間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読み聞かせ(聞かせボランティア) ○ 読書集会(図書委員会主催の縦割り班活動) ○ 学年ごとにテーマを決めた読書の取組み ○ 読書カード(決まった冊数を読んだらしおりがもらえる) ○ 図書ボラさんによる、月に1回、長い放課の読み聞かせ 	平成29年度と同じ <ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読み聞かせ(ボランティア) ○ 読書集会(図書委員会主催の縦割り班活動) ○ 学年ごとにテーマを決めた読書の取組み ○ 読書カード(決まった冊数を読んだらしおりがもらえる)
古瀬戸小学校	年に2回の読書月間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読み聞かせ(保護者の読み聞かせボランティアなど) ○ 図書委員による集会での発表(本の紹介や、クイズ等) ○ POPを書く。(本の紹介) ○ 家庭での親子読書週間 	1. 2学期 朝会や児童集会がないときに、朝読書や読み聞かせを実施。 2学期に読書月間、親子読書週間を行う。

水野小学校	年に3回(学期に1回)の読書週間(各2週間ずつ)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読み聞かせ(保護者の読み聞かせボランティア・司書の方の読み聞かせ) ○ 図書委員会のおすすめの本紹介 ○ 読書の木(全校児童のおすすめの本の一言紹介) ○ 読書郵便 ○ 多読者賞しおり贈呈 	月・金の朝にモジュールで実施。読書週間では時間がないので、月間になる可能性も。
水南小学校	年に3回の読書習慣(学期に1度) 6月・11月・2月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝読書(各自で用意した本を読む時間を設定する。8:15～8:30) ○ 朝の読み聞かせ(保護者の読み聞かせボランティア・先生方・図書など) ○ 読書郵便コンテスト(期間中に読書郵便を出すことを推奨し、応募された読書郵便の中から優秀な作品を図書委員が選出して、展示・表彰) ○ 図書委員・先生方のおすすめの本紹介(紹介された本を読んだ児童に、しおりプレゼント) ◎ 月替わり ○ 今月の図書テーマ設定(月ごとにテーマを決めて本を紹介:1月は犬の出てくる本・2月は鬼の出てくる本を紹介しました。) ◎ 随時 ○ 図書館だより発行(貸し出しランキングや多読賞を発表) 	基本的には今年度と同様に取り組んでいく予定です。ただし、朝読書や読み聞かせの時間はモジュールの時間を利用していきます。
幡山東小学校	毎週火曜日に実施される朝の読み聞かせ 1学期 読書週間 2学期 読書月間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎週火曜日に実施される朝の読み聞かせ。(1・2・中・高学年で週ごとに分けて、毎週地域のボランティアの方による実施) ○ 読書週間・月間時は朝読書を取り入れる。 ○ ペア読書。(高学年と低学年ペア) ○ 読書カード。(10冊本を読めたら図書委員によるしおりがもらえる。) ○ 先生による朝の読み聞かせ。 	毎週火曜日に実施される朝の読み聞かせ 1学期 読書週間 2学期 読書月間
幡山西小学校	年に3回の読書月間(学期に1度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読み聞かせ(保護者の読み聞かせボランティア・あゆみ・たんぼぼの会など) ○ 学年ごとにテーマを決めた読書の取り組み ○ 先生方の子どものころ好きだった本の紹介(図書館だよりに掲載) 	1・2・3学期に読書月間を行う。モジュールの時間、児童集会がない朝の時間・長放課に、図書ボランティアさんによる読み聞かせを実施。
下品野小学校	年に2回の読書週間(1・2学期の2週間)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読書タイム ○ なかよし読書(縦割り班 高学年が紙芝居の読み聞かせをする。) ○ 読書でビンゴ ○ 読み聞かせ出前(読み聞かせボランティア マザーグース) ○ ぼく・わたしのすすめる本 ○ シャッフル読み聞かせ(先生方) ○ なかよしペア読書(縦割り班の高学年と低学年のペアで高学年が絵本を読む。) ○ おはなし会(波の会のストーリーテリング) 	学期初め・学期終わり・読書週間の朝(朝読書や読み聞かせを実施。) 1・2学期に読書週間(2週間)を行う。

品野台小学校	年に3回の読書月間 (学期に1度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読み聞かせ(保護者の読み聞かせボランティア・らんぶの会・先生方・図書委員など) ○ なかよし読書(高学年と低学年ペア・縦割り班) ○ 学年ごとにテーマを決めた読書の取り組み ○ 分類ビンゴ(0~9類の本を読む) ○ 先生方の子どもころ好きだった本の紹介本の主人公のぬり絵をしよう ○ 読書郵便 	<p>1・3学期 木曜日朝(モジュールの時間)、児童集会がないときに、朝読書や読み聞かせを実施。 2学期に読書月間を行う。</p> <p>○</p>
掛川小学校	年に1回の読書月間(6月) らんぶの会による読み聞かせ (6月・11月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝読書 ○ 本の読み聞かせ ○ 本に関するクイズ 	朝学習の時間に読書タイムを実施する。
長根小学校	年に2回の読書週間 (6月・11月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読み聞かせ(保護者の読み聞かせボランティア・担任など) ○ オススメ本の紹介 ○ 読書ビンゴ(キーワードの題名の本を読む) ○ 先生方の子どもころ好きだった本の紹介(図書室に先生コーナーを設置) 	毎朝(モジュールの時間)、朝読書。 毎週金曜日、保護者による読み聞かせ。 1・2学期に読書週間を行う。
原山小学校	年に2回の読書月間 (6月と11月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読書タイム(週に1回) ○ 読み聞かせ(保護者のボランティア、異学年等) ○ 図書集会(オススメの本の紹介、読み聞かせ) 	平成29年度と同様に、週に1度の読書タイムを実施。 年に2回の読書週間の実施。
東山小学校	年に1回の読書まつり(2週間)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読み聞かせ(図書委員が低学年に) ○ 新刊案内(図書委員ビデオ放送) ○ 辞書引き大会 ○ 読書クイズ 	2学期(11月上旬を予定) 時間・内容は未定
萩山小学校	年に3回の読書月間 (学期に1度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読み聞かせ(先生方と図書委員とペアで) ○ 読書ビンゴ(低学年は50音の題名で、登場人物で、高学年は分類で) ○ 波の会によるおはなし会 	年に3回の読書月間 (学期に1度)
八幡小学校	月に1回か2回の図書ボランティアによる読み語り 年に2回の読書週間 (6月・11月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読み聞かせ ○ 長い放課のボランティアによる大型絵本の読み語り ○ クラスごとに読んだ本の数だけ図書掲示板に アジサイの花を貼る。 ○ おすすめ本を読書記録カードにかく。 ○ 読書ビンゴ(0~9類の本を読む) ○ 先生方の子どもころ好きだった本の紹介 ○ 11月読書集会 (0・1時間目) 	毎月、1~2回の図書ボランティアによる読み語りを実施。 6月・11月に読書週間を行う。
西陵小学校	・毎週金曜日朝読書 ・年に2回の読書週間 ・年に3回の読み聞かせ週間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読書 ○ おすすめの本の紹介 ○ 辞書引き大会 ○ 読書クイズ(給食時の昼の放送) ○ 朝の読み聞かせ(保護者の読み聞かせボランティア・先生方・図書委員など) 	金曜日朝読書タイム 1・3学期読書週間、読み聞かせを実施。

読書活動の取組み(中学校)

学校	H29年度実施時期	主な取組み内容	H30年度実施予定
水無瀬中学校	毎月ある朝読書の時間 読書月間(学期に一回)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読み聞かせ(G組の生徒に向けてボランティア) ○ 多読者の表彰 ○ 授業での図書室の利用 ○ 図書委員による図書の紹介 	毎学期 朝読書の時間
祖東中学校	朝8:15~8:30	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読み聞かせ(保護者による読み聞かせを学期に1~2回実施) ○ 朝読書(テスト期間、行事前以外は基本的に実施。15分程度) ○ 図書委員によるおすすめの本のコーナー設置。おすすめの本を紹介する掲示。 ○ 図書委員による図書だよりの発行(学期に数回) 	今年度と同様の活動を行う予定。
南山中学校	①毎週 ②読書週間	<ul style="list-style-type: none"> ①図書委員による、図書だよりの作成・掲示。 ②図書委員による、おすすめの本紹介。 	今年度と同様
本山中学校	1年間を通して、朝の時間(8:15~8:35)に読書活動を行った。 合唱コンクール前の合唱練習や受験前の学習プリントなど、学校・学年の実態に応じて、読書から内容を変更したこともあった。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読書 ○ 図書だよりの発行 ○ 掲示物作り ○ 先生や図書委員のオススメ図書の紹介 	先の内容に加え、ボランティアの方による定期的な読み聞かせを予定。
幡山中学校	年に2回の特別貸し出し (夏休み・冬休み前)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝読書(毎朝・全学年) ○ 図書委員による分館の選書 ○ 図書委員による読書紹介(図書館だより・口頭) ○ 読書感想文・受験対策用の本の紹介 	年に2回の特別貸し出しに合わせた読書月間・図書委員による情宣活動
品野中学校	年に2回の読書週間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝読書(毎朝の20分間) ○ 朝読書の時間に読み聞かせ(図書委員の生徒が好きな絵本や小説の読み聞かせをし、聞いている生徒は感想を書く。) ○ 集会時に教員が読み聞かせ(年2回) ○ 1年間を通して、生徒が本を手に取りやすいように、昇降口に本をテーマごとに並べた。(例:映画化された小説など) 	年2回(1・3学期)の読書週間 来年度も読み聞かせを実施予定
光陵中学校	○朝読書(通年) ○読書まつり(12月に実施)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読み聞かせ(地域の方の読み聞かせ) ○ 朝の読み聞かせの良い感想に対する表彰 ○ しおりの配布(図書委員が作成) ○ ブックトーク(図書館司書の方による) 	例年通り12月に実施予定
水野中学校	テスト週間以外	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読書(15分程度) ○ 人権に関する本の紹介(人権週間のみ) 	朝読書はテスト週間以外で実施。 人権に関する本の紹介は、人権週間のみ実施。

読書の取り組み(高等学校)

学校	平成29年度実施時期	主な取り組み内容	平成30年度実施予定
瀬戸高校	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書(通年) ・読書感想文コンクール ・図書スタンプラリー ・図書館まつり ・図書館めぐり(瀬戸市図書館と共催)(11/6~11,11/13~14) ・ビブリオバトルin瀬戸市立図書館(11/19) 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のST前に、心を落ち着かせ読書を行う。(10分間) ・夏休み中に本人が選んだ本の感想文を書かせ、2学期に学校を選び、コンクールに出展する。(希望者) ・6月頃から教員・図書委員(生徒)の推薦本を掲示し、期間中に何冊読んだかを確認、上位の者を表彰する。 ・読書週間にあわせて、テーマを設定し、テーマに沿った展示等を行う。最終日に図書スタンプラリーの表彰、ギター部、図書委員等の発表を行う。 ・一般公開も実施し、公開展示を行う。 ・「大学コンソーシアムせと」が主催し、加盟5大学の学生の中に本校2名の生徒が参加し、書評合戦を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書 ・読書感想文コンクール ・図書スタンプラリー ・図書館まつり ・図書館めぐり(瀬戸市図書館と共催) ・ビブリオバトルin瀬戸市立図書館 <p>※平成29年度と同内容で実施</p>
瀬戸西高校	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の特別貸し出し(夏季及び冬季休業前) ・秋の読書週間 ・年間9回 ・通年 ・年度末 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業前: 読書感想文用の本の紹介、教科レポート課題内容に関する本の紹介 ・テーマに合わせた選書・展示 ・「図書館だより」の発行 ・「図書委員によるおすすめ本」のコーナー設置 ・「年間多読賞」の表彰 	平成29年度と同様
瀬戸窯業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・特別貸出(年1回) ・読書感想文(夏休み) ・図書館だよりの発行(年6回) ・図書館官報の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・各休みごとに、冊数・貸出期間を変更して読書する機会を増やす。 ・400字詰め原稿用紙3~5枚の読書感想文・読書感想画を夏休み(出校日)に提出後、優秀作品は後日図書館官報に掲載・表彰する。 ・図書館員による図書だよりの発行 ・先生のお薦め本の紹介または、読書のススメを掲載 ・授業での図書室利用促進 	例年どおり実施
瀬戸北総合高校	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日8:35~8:45の10分間(テスト、行事を除く) ・年5回(四季ごとと新年度) ・夏休み又は2学期 ・9月学校祭 ・11月 ・適宜 ・2月末 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書 ・「図書館だより」の発行 ・図書委員によるポップ作り ・図書館クイズ大会 ・読書週間用展示 ・新刊書籍等の案内の掲示物づくり ・多読者の表彰 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日8:35~8:45の10分間(テスト、行事を除く) ・年5回(四季ごとと新年度) ・夏休み又は2学期 ・9月学校祭 ・11月 ・適宜 ・2月末

小・中学校蔵書数 (H28)

小学校

校名	司書教諭	学校司書	蔵書数 (H28年 度末)	学級数 (H29.12.1)	図書標準	図書 充足率	不足冊数	備考
	専任・兼務・無	有・無						
1 陶原小	兼務	無	10,374	24	10,760	96 %	-386	図書館からの学校配達: 800冊
2 深川小	無	無	9,201	7	5,560	165 %	3,641	
3 祖母懐小	無	無	6,867	9	6,520	105 %	347	図書館からの学校配達: 320冊
4 道泉小	無	無	6,434	10	6,520	99 %	-86	
5 效範小	兼務	無	10,917	21	10,560	103 %	357	
6 東明小	無	無	6,438	7	5,080	127 %	1,358	図書館からの学校配達: 180冊
7 古瀬戸小	無	無	4,422	8	6,040	73 %	-1,618	図書館からの学校配達: 120冊
8 水野小	兼務	無	6,443	17	9,560	67 %	-3,117	地域図書館 図書館からの配架分: 3,443冊
9 水南小	兼務	無	8,374	19	10,560	79 %	-2,186	
10 幡山東小	兼務	無	6,677	17	9,960	67 %	-3,283	図書館からの学校配達: 450冊
11 幡山西小	兼務	無	11,074	21	10,960	101 %	114	図書館からの学校配達: 720冊
12 下品野小	兼務	無	15,959	17	9,960	160 %	5,999	図書館からの学校配達: 640冊
13 品野台小	無	無	8,698	7	5,560	156 %	3,138	地域図書館 図書館からの配架分: 5,385冊
14 掛川小	無	無	2,763	5	4,560	61 %	-1,797	図書館からの学校配達: 200冊
15 長根小	兼務	無	9,948	18	9,960	100 %	-12	図書館からの学校配達: 640冊
16 原山小	無	無	7,987	10	7,960	100 %	27	
17 東山小	兼務	無	7,891	24	11,760	67 %	-3,869	地域図書館 図書館からの配架分: 3,389冊
18 萩山小	無	無	6,389	7	6,040	106 %	349	図書館からの学校配達: 280冊
19 八幡小	兼務	無	12,190	12	8,360	146 %	3,830	
20 西陵小	兼務	無	7,533	26	11,560	65 %	-4,027	地域図書館 図書館からの配架分: 4,476冊
合計			166,579	286	167,800	99 %	-1,221	

中学校

校名	司書教諭	学校司書	蔵書数 (H28年 度末)	学級数 (H29.12.1)	図書標準	図書 充足率	不足冊数	備考
	専任・兼務・無	有・無						
1 水無瀬中	兼務	無	12,286	24	14,880	83 %	-2,594	特別支援4
2 祖東中	無	無	7,777	7	7,920	98 %	-143	
3 南山中	兼務	無	16,475	30	17,440	94 %	-965	
4 本山中	無	無	7,276	5	6,720	108 %	556	
5 幡山中	兼務	無	11,388	18	13,920	82 %	-2,532	
6 品野中	無	無	11,430	10	10,160	113 %	1,270	
7 光陵中	無	無	10,394	9	9,040	115 %	1,354	地域図書館開設校: 図児716冊
8 水野中	兼務	無	12,471	17	12,160	103 %	311	
合計			89,497	120	92,240	97 %	-2,743	

各公民館図書利用調べ (H30)

	図書室(図書コーナー)がある		本の貸し出しがある		絵本の貸し出しがある	
	ある	ない	ある	ない	ある	ない
① 陶原	●		●		●	
② 深川	●		●		●	
③ 祖母懐	●		●		●	
④ 古瀬戸	●		●		●	
⑤ 東明		●		●		●
⑥ 效範	●		●		●	
⑦ 長根	●		●		●	
⑧ 水南	●		●		●	
⑨ 山口		●		●		●
⑩ 幡山	●		●		●	
⑪ 下品野	●			●		●
⑫ 掛川	●		●		●	
⑬ 原山	●		●		●	
⑭ 萩山	●		●		●	
⑮ 八幡	●		●		●	

※深川は1階会議室内に図書室あり。

※水南は1階事務室内に図書室あり。図書室として機能していない。利用者はほぼ運営委員のみ。

※原山は利用者はほとんどいない。

瀬戸市子ども読書推進計画（第三次） 章立て（案）

はじめに

第1章 第三次推進計画の策定にあたって

- 1 計画策定の背景と趣旨
- 2 計画の位置付け
 - ①国・県の動向
 - ②瀬戸市の動向
- 3 計画策定の目的
- 4 計画策定の基本的な考え方
- 5 計画期間
- 6 計画の対象

第2章 現状と課題

- 1 瀬戸市の子ども読書活動を取り巻く現状
 - ①社会状況（第四次「子供読書活動の推進に関する基本的な計画」より）
 - ②県の状況（県アンケート調査結果より）
 - ③本市の状況（取組み内容、蔵書数等）
- 2 第二次計画期間における主な成果と課題
 - ①年齢に沿った取組みの成果と課題
 - (1)乳児（0～1歳児）
 - (2)幼児（3～5歳児）
 - (3)児童・生徒（6～18歳児）
 - ②総合的な取組みの成果と課題
 - ③計画の全体の評価

第3章 第三次計画の基本的な方針

- 1 基本理念
- 2 基本目標
 - 基本目標1 子どもが読書に親しむ機会の提供・充実
 - 基本目標2 子どもの読書活動を推進するための環境の整備
 - 基本目標3 子ども読書活動への理解と関心の普及・啓発
- 3 施策の体系

第4章 第三次計画の具体的な取組み 例示

- 1 子どもが読書に親しむ機会の提供・充実
 - ① 家庭での読書活動への支援
 - ② 保育園・幼稚園等での読書機会の提供・充実
 - ③ 学校での読書機会の提供・充実
 - ④ 図書館での読書活動の機会の提供・充実
 - ⑤ 地域での読書機会の提供・充実
 - ⑥ 発達段階に応じた切れ目のない読書機会の提供

- 2 子どもの読書活動を推進するための環境の整備
 - ① 身近に本がある環境の整備
 - ② 図書の実充
 - ③ 協働・連携による推進体制の整備

- 3 子ども読書活動への理解と関心の普及・啓発
 - ① 子どもの関心を高める取組み
 - ② 普及啓発活動

第5章 計画の推進に向けて

- 1 計画の周知
- 2 関係機関との連携・協働
- 3 計画の実施状況の点検・評価

資料

■第三次 瀬戸市子ども読書活動推進計画 骨子（案）

はじめに

- 計画策定の趣旨などの概要
 - ・法定計画として策定
 - ・市の課題認識
 - ・策定方法

第1章 第三次推進計画の策定にあたって

1 計画策定の背景と趣旨

- 子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにして、人生を深く生きる力を身に付ける上で不可欠
- 情報化社会の進展で子どもの読書離れの懸念
 - ・読書力と情報処理能力の調和が必要
 - ・読書習慣の形成とそのための環境づくりが必要

2 計画の位置付け

①国・県の動向

- 「子どもの読書活動の推進に関する法律」（2001年（平成13年））の制定
- 国：「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（2018年（平成30年4月））を策定
- 県：「子供読書活動推進計画（第四次）」を2018年度（平成30年度）に策定

②瀬戸市の動向

- 「第6次瀬戸市総合計画」（2017年（平成29年）3月）：都市像「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」、「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」を掲げて子育てや教育、生涯学習を充実
- 「第2次瀬戸市教育アクションプラン（教育振興基本計画）」（2016（平成28年））
- 「子ども読書活動推進計画」の策定経過
 - ・「瀬戸市子ども読書活動推進計画」2008年度（平成20年4月）
 - ・「第二次瀬戸市子ども読書活動推進計画」2014年度（平成26年4月）：計画期間が2018年度（平成30年度）で終了

3 計画策定の目的

- 計画策定を通じ、国・県を含めた本市の実状を踏まえながら、既に実施している取り組みと今後取り組むべき取り組みを明らかにし、協働と連携による推進体制の構築や子どもの読書活動への理解と関心の普及・啓発への指針とする。

4 計画策定の基本的な考え方

- 計画策定にあたっては、①各主体の取り組みを整理する。（着実な実行をめざす）②協働の範囲と連携の方策を探る（切れ目ない推進を図る）、③プロモーションも含めたものがたりを創る（効果的に普及・啓発する）、の3つの視点による。
- 特に力点を置く年齢層などの対象（コアゾーン）を意識する。
- 取り組みのスケジュール（ステップ）を明らかにして、進捗管理の目安とする。

5 計画期間

2019年度～2023年度の概ね5年間

6 計画の対象

- 0歳から18歳までの子どもと、保護者、子ども読書に関わる団体、地域など

第2章 現状と課題

1 瀬戸市の子ども読書活動を取り巻く現状

- ①社会状況（第四次「子供読書活動の推進に関する基本的な計画」より）
- ②県の状況（県アンケート調査結果より）
- ③本市の状況（取組み内容、蔵書数等）

2 第二次計画期間における主な成果と課題

- ①年齢に沿った取り組みの成果と課題
 - (1)乳児（0～2歳児）
 - (2)幼児（3～5歳児）
 - (3)児童・生徒（6～18歳児）
- ②総合的な取り組みの成果と課題
- ③計画の全体の評価

第3章 第三次計画の基本的な方針

1 基本理念

【キーワード】

- ・健やかな心
- ・豊かな心
- ・生きぬく力
- ・生きる知恵
- ・本と出会う
- ・本に親しむ
- ・笑顔ですごす
- ・育む
- ・伸ばす
- ・ふれあい
- ・交流
- ・つなぐ

2 基本目標

基本目標1 子どもが読書に親しむ機会の提供・充実

- 各主体がそれぞれの場で、子どもの発達段階に応じ、子どもが読書に親しむ機会を提供・充実する。

基本目標2 子どもの読書活動を推進するための環境の整備

- 子どもが本に興味を持ち、良い本に出会える環境を学校、図書館、関係機関が協働・連携して整備する。

基本目標3 子どもの読書活動への理解と関心の普及・啓発

- 子ども自身が読書への関心を高めるとともに、子どもに関わるあらゆる人が子どもの読書活動の意義と大切さについて理解を深めるための普及・啓発を行う。

3 施策の体系

- ※基本方針と関連方策・具体的な取り組みの体系図

第5章 計画の推進に向けて

1 計画の周知

2 関係機関との連携・協働

3 計画の実施状況の点検・評価

第4章 第三次計画の具体的な取組み 例示

1 子どもが読書に親しむ機会の提供・充実

- ①家庭での読書活動への支援
 - 0歳からの読書習慣の形成（ブックスタート事業）
 - 親への読書活動の働きかけ（パパだって読み聞かせ）
- ②保育園・幼稚園等での読書機会の提供・充実
 - 読み聞かせの実施
 - 本の貸出
- ③学校での読書機会の提供・充実
 - 読み聞かせ・ブックトークの充実
 - 読書指導・朝読の充実
 - 読書週間・月間催事の充実
 - 高等学校との情報交換・連携
- ④図書館での読書活動の機会の提供・充実
 - 図書館訪問・見学の拡充
 - 学童保育、子育て支援施設等への図書館利用の呼びかけ
 - 読み聞かせ・おはなし会等読書関連講座・催事の開催
- ⑤地域での読書機会の提供・充実
 - 地域図書館の市民へのPR
 - 地域施設での読み聞かせの実施
 - 放課後子ども教室における読書活動推進
- ⑥発達段階に応じた切れ目のない読書機会の提供
 - ※上記①～⑤からポイントを整理

2 子どもの読書活動を推進するための環境の整備

- ①身近に本がある環境の整備
 - 地域図書館の増設・充実
 - 公民館図書室の充実
 - 自動車文庫の実施（遠隔地・催事会場への出張サービス）
- ②図書館の充実
 - 図書館の図書の実質（収集方針の見直し）
 - 図書館等における中高生向けコーナーの開設
 - 保育園・幼稚園の図書コーナーの整備（団体貸出の全園登録）
 - 学校図書館の整備（図書標準の達成、新聞の配置、展示の工夫等魅力ある図書館づくり）
 - 公民館等地域施設の充実
 - 団体貸出制度の整備・活用の促進
- ③協働・連携による推進体制の整備
 - 公民館等地域施設での図書の利用促進
 - 学校図書館の資料のデータベース化と活用
 - 学校の調べ学習への図書館からの図書の貸出等連携
 - 団体貸出・パネルシアター・大型絵本の貸出の推進
 - 読書に関わる人材・団体間の情報の共有化（情報交換の仕組みづくり、ボランティアへ研修情報の提供等）
 - ボランティア登録制度の整備
 - ボランティア団体との連携
 - 地域図書館開設校へ図書館から司書の派遣

3 子どもの読書活動への理解と関心の普及・啓発

- ①子どもの関心を高める取組み
 - 読書通帳機の導入
 - 各施設での読み聞かせの実施
 - 本へのとびら事業（放課後学級・学童保育への出張ブックトーク）
 - 高校生参加ビブリオバトルの開催
- ②普及啓発活動
 - 広報紙・HP等を通じたPR（「図書館からのお知らせ」、関連催事の案内・ボランティア活動の紹介等）
 - 図書館での「こども読書の日」催事・啓発活動の実施
 - 「読書週間」での読書活動の情報共有化

